



# 麦穂

東村山第一中学校

平成30年度2月号

学校だより

発行者 校長 深谷 恭司

## いのちとこころの教育週間

今年に入り1組は「劇と音楽の会」、3年生は「受験」、2年生は「校外学習都内めぐり」、1年生は「スキー移動教室」と忙しい毎日を送っています。先週は、「道徳授業地区公開講座」を開きました。気温が低く夜には雪も降った一日でしたが、多くの保護者の方々にご参観いただきましたこと、感謝申し上げます。

1組では「〇〇さんのここが大好き」を題材に歌詞を引用しながら自分自身・人とのかかわりに関することについて考えました。1年生は「あ、トトロの森だ！」を題材にトトロの森を立ち入り禁止にするかどうかを通して、生命の尊さ・自然愛護について考えました。2年生では「たったひとつのたからもの」を題材に秋雪君と家族のお話や保護者の方々にもご協力をいただいたアンケート、「生まれたときに感じたこと・育てる上で感じること」を通して、生命尊重・家族愛について考えました。3年生では、「でも、この人は生きている」を題材にマザーテレサの生き方を通して世界の中の日本人・人類の幸福への貢献について考えました。

また、3校時は人権作文の放送による発表がありました。

「愛するということ」(2-4 女子)

「男尊女卑、住みやすい国とは」(2-4 女子)

「ボランティア活動を通してこれからも大切にしていきたいこと」(1-2 女子)

「大切な家族」(2-3 女子)の4名が発表をしてくれました。

2月1日~7日までの1週間を東村山市では、「東村山市いのちとこころの教育週間」と位置づけています。学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもたちの健全育成について考え、具体的な実践に取り組む機会としています。

先日『次世代を担う子供たちに「いのちの大切さ」「人を思いやるこころ」を培うために』を配布させていただきました。これは平成14年1月に本市で起きた痛ましい事件を重く受け止め、この事件を風化させることなく、児童・生徒や学校関係者だけではなく、広く市民に受け止めていただき、市内すべての子供たちが自分の命も他人のいのちも大切にし、その健全な育成を願って、当時の報告書に盛り込まれた提言や提案を参考にして東村山市教育委員会が作成しました。ご家庭でも是非お子様とお読みいただき、「いのちの大切さ」について一緒に考えていただけたらと思います。

## 〈移動教室から〉



## 〈部活動における活躍〉

- 男子バスケットボール部 多摩大会中 目標ベスト16
- バレーボール部 11ブロック冬季大会準優勝
- 卓球部 11ブロック新人大会 男子団体 第5位（都大会出場）  
女子団体 第3位（都大会出場）
- 吹奏楽部 3月21日（木）春分の日14：00～本校体育館にてスプリングコンサートを開催します。ご来場をお待ちしています。

## 〈市民の集い〉

1月27日（日）に東村山市「いのちの教育」推進プラン事業～心豊かな子どもの成長を願う～「市民の集い」が東村山市立中央公民館ホールで開催されました。

東村山第一中学校からは、「吹奏楽部の演奏」と「生徒会による発表」の部（参加者：生徒会長）に参加しました。

## 〈北多摩地区公立中学校美術展〉

平成30年度北多摩地区公立中学校美術展が1月25日（金）から1月29日（火）にかけて清瀬市郷土博物館2階ギャラリーで開催されました。東村山第一中学校の保護者や生徒の皆様にもご参観いただきありがとうございました。

### 出品作品

- 1年 デザイン（絵文字） 7名
- 2年 くつの水彩デッサン 8名
- 3年 自画像 8名

（2，3年各2名は、東京都美術館での第68回東京都公立学校美術展覧会にも出品）